

施策評価シート 対象事業年度 令和 4 年度

政策	Ⅲ 環境にやさしく、夢・うらおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	施策推進 責任者	企画調整室長・港営部長・建設部長
重点施策	4 港湾活動のグリーン化		
施策	5 良好な港湾環境の形成		

政策Ⅲ：環境・にぎわい
重点施策4・施策5

1. PLAN(目的・展開内容)

※シート中、「感染症」とあるのは、すべて「新型コロナウイルス感染症」を指す。

目的	サービスの対象者(誰のために)	地域住民、来訪者、就業者、船会社、港湾運送事業者、荷主など	意図(どういう状態にしたいのか)	水域の適正な管理が行われ、港湾における環境負荷が低減するなど、自然環境、生活環境、地球環境などさまざまな面で環境を守り環境にやさしい港
	サービスの対象物(何を)	港湾のあらゆる機能への環境配慮や自然環境保全の取組		
展開	(重点施策4) 再生可能エネルギーの利用拡大や照明設備のLED化などの省エネルギーを積極的に進める。			
	(施策5) 名古屋港から排出される温室効果ガスの削減に大きく貢献する、新舞子マリンパーク風力発電所の適切な管理に努める。また、本組合施設から排出される温室効果ガスの削減に積極的に取り組む。 生物多様性に配慮し、海域環境への負荷軽減を図るため、西部地区において浅場造成に取り組む。 港内環境を良好な状態に維持し、水域を適切に管理していくため、漂流物の速やかな除去や、放置艇対策に取り組む。 公有地の適切な管理に努めるとともに、西部地区等においては、定期的なパトロールや地元自治体・事業者と連携した一斉清掃を実施することにより、ごみ等が不法投棄されにくい環境を整える。			

2. DO(施策を構成する各事務事業の取組内容・今後の方向性)

4. ACTION(課題・5年度以降の取組方針)

(1) 重点施策4

コード	事務事業名 (担当課名)	成果目標名 【指標型】	成果目標	4年度に取り組んだ内容	元年度	2年度	3年度	4年度	4年度 の状況	4年度実施事業に基づく評価結果			課題	5年度以降の取組方針	
					上段: 成果目標 目標値					目標値 (5年度)	5年度以降の方向性				・事務事業の方向性を判断した理由 ・目標年次の変更等の理由 等
					中段: 成果目標 実績値						成果	コスト			
					下段: 事業費(単年度・人件費込・国費除く)										
重施 04 事01	脱炭素化の取組の推進 ※ (環境担当)	新たな再生可能エネルギーの導入に向けた進捗状況 【進行管理型】	①導入手法の選定(R1) ②本庁舎・港湾会館の再生可能エネルギー調達開始(R2) ③その他施設での再生可能エネルギーの調達開始(R3)	名古屋港ゴルフクラブ、西倉・入船駐車場、保管施設、汚泥脱水機等の照明設備のLED化を行った。	1工程	2工程	3工程	—	—	順調	継続	資源(財・人)の投入は維持したまま、取組を強化することによって、成果をあげる必要がある。	第5次地球温暖化対策実行計画に基づき、CO2削減を進める必要があるため継続する。また、成果目標である「照明設備のLED化の進捗状況」により進行管理を行っていくことが必要であるため。	照明設備のLED化については各施設の管理担当部署と調整を進めていく必要がある。	照明のLED化については、計画どおり進捗するよう水族館など各施設の管理担当部署と調整を進めていく。
					1工程	2工程	3工程	—							
					1工程	2工程	3工程	3工程	4工程 (累計)						
					1工程	2工程	3工程	3工程							
					33,190千円	9,174千円	9,000千円	4,500千円	5年度完了						

(2) 施策5

コード	事務事業名 (担当課名)	成果目標名 【指標型】	成果目標	4年度に取り組んだ内容	元年度	2年度	3年度	4年度	4年度 の状況	4年度実施事業に基づく評価結果			課題	5年度以降の取組方針	
					上段: 成果目標 目標値					目標値 (5年度)	5年度以降の方向性				・事務事業の方向性を判断した理由 ・目標年次の変更等の理由 等
					中段: 成果目標 実績値						成果	コスト			
					下段: 事業費(単年度・人件費込・国費除く)										
施05 事01	温室効果ガス総排出量の削減 (環境担当)	当該年度の削減目標を達成した項目数の割合 【単年度管理型】	温室効果ガス総排出量削減に係る取組項目(①燃料(公用車)②燃料(船舶)③電気(事務)④電気(事業用施設)⑤ガス・石油等の燃料⑥ハイドロフルオロカーボン⑦六フッ化硫黄)のうち、削減目標を達成した項目数の割合	各部室局が年間を通じて力を入れる重点的取組を設定し、省エネルギー等の取組(LED化)を進めた。また、2050年カーボンニュートラルを目指すこととなった我が国の情勢を鑑み、温室効果ガス削減に向けた取組をさらに促進していくため、第5次地球温暖化対策実行計画の策定を行った。	100%	100%	100%	100%	100%	目標値をやや下回る	継続	取組および資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。	ガス、石油等の燃料の増加は、新型コロナウイルス感染症予防対策によるもので、やむを得ない事情であった。よって、引き続き地球温暖化を防止するため事業を継続するものとし、成果・コストを「維持」とする。	温室効果ガス総排出量のさらなる削減に向けて、第5次地球温暖化対策実行計画で定める重点的取組の設定や実施について、進めていく必要がある。	重点的取組の設定から進め方等を、推進会議やワーキンググループを設置し、関係部署と調整を図りながら進めて行く。また、重点的取組以外の取組についても、指定管理者等とともに成果を分析・評価しながら進めていき、温室効果ガス総排出量のさらなる削減を図る。
					85.7%	85.7%	85.7%	85.7%							
					4,587千円	10,993千円	10,800千円	12,600千円							
施05 事02	風力発電施設の管理・運営 (施設工事担当、管理課、施設事務所)	風力発電施設の稼働率 【単年度管理型】	風力発電施設の稼働率(%)	不良箇所を発見した場合には速やかに対応した。なお、風力発電施設1、2号機は故障により稼働停止しており、停止中の安全対策を行った。 また、先に故障した2号機に続き、1号機についても原因調査を行った。	100%	100%	100%	100%	100%	目標値を下回る	継続	取組および資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。	故障により1、2号機が停止中のため「目標値を下回る」となったが、港湾における温室効果ガス排出削減に寄与することや停止中の2機の安全対策を継続していく必要があることから成果・コストを「維持」とした。	故障停止している1、2号機の安全性を確保するとともに、補修の可能性について検討をする必要がある。	故障停止している1、2号機の補修の可能性について検討を進めていく。また停止中においても適切な管理に努め、不良箇所を発見した場合は、速やかに対応していく。
					54.9%	34.8%	8.0%	0.0%							
					96,379千円	20,554千円	25,379千円	17,099千円							

コード	事務事業名 (担当課名)	成果目標名 【指標型】	成果目標	4年度に取り組んだ内容	元年度	2年度	3年度	4年度	目標値 (5年度)	4年度 の状況	4年度実施事業に基づく評価結果			課題	5年度以降の取組方針	
					上段: 成果目標 目標値						5年度以降の方向性	・事務事業の方向性を判断した理由 ・目標年次の変更等の理由 等				
					中段: 成果目標 実績値								成果			コスト
下段: 事業費(単年度・人件費込・国費除く)																
施05 事03	西部地区海域環境創造事業 (環境担当)	生物生息場の整備の進捗 状況 (全3工程) 【進行管理型】	①計画(～R1) ②設計(～R2) ③整備(R3～)	令和3年度に、潜堤および覆土を行い浅場を完成させる予定であった。しかし、想定以上に現地の地盤が軟弱であったため、工事中、潜堤の材料の沈下が激しく、潜堤のみの完成で工事を完了させた。多様な生物の生息の場の確保のためには、浅場の水深(N.P.-0.5m～-1.1m)を確保する必要があり、令和4年度は、工事再開に向けて整備した潜堤の沈下状況をモニタリングし、沈下が収束していることを確認した。	1工程	2工程	3工程	3工程	3工程(累計)	やや遅れ	延伸	維持	維持	事業期間内に浅場が完成しなかったものの、本港の持続可能な発展とあわせ、多様な生物の生息場の創出も図る必要があるため、完成に向け事業期間を延伸する。	多様な生物の生息場確保のためには、浅場の水深(N.P.-0.5m～-1.1m)を確保する必要があり、覆土や潜堤の沈下状況を確認しながら段階的に整備を進める必要がある。	多様な生物の生息場を創出するため、令和5年度から浅場造成を再開し、沈下状況を確認しながら段階的に浅場の整備を進める。完成後には生物生息調査を行い、その効果を確認していく。
				1工程	2工程	2工程	2工程	維持				維持				
				22,537千円	8,388千円	108,791千円	3,120千円	5年度完了								
施05 事04	港湾環境の啓発 (環境担当)	環境学習参加者の理解度 【単年度管理型】	環境学習参加者へのアンケート調査において、内容が理解できた人数の割合(%)	環境イベントに出展し、環境施策について啓発を行った。みなど体験ツアー2022(環境・景観をテーマとしたコース)を実施した。中学校からの依頼を受け環境学習を行った。	70%	75%	80%	85%	90%	目標値を上回る	継続	維持	維持	環境イベントの出店や環境学習などを通じて、より多くの県民・市民に対し、本組合が進める環境施策について、関心と理解を深めてもらう必要があるため継続とする。また、目標については、実績が目標に比べ上回っているため、目標値の引き上げを行うが、引き続き、目指す成果は、これまでと同様に県民・市民への高い理解度を維持することであることから、成果・コスト共に「維持」とする。	引き続き、環境学習の参加者から高い理解度が得られるよう説明を行う必要がある。	引き続き、本組合の環境施策について高い理解度が得られるよう、図表や写真、パネルなど内容が理解しやすい資料等を使い、環境啓発活動を行う。
				86%	95%	96%	97%	取組および資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。				維持	維持			
				1,938千円	1,922千円	1,951千円	2,840千円									
施05 事05	港内環境の調査 (環境担当)	測定計画等に基づく水底 質調査の実施率 【単年度管理型】	港内の水底質調査の実施回数÷年度の調査必要回数(%)	公害防止事業により敷設されたアスファルトマットの効果を確認するため、水質調査(6地点、年間4回)を行った。中川運河、堀川の水質調査(11地点、年間12回)を行った。しゅんせつ工事を実施する場合は、事前に底質の調査を行った。	100%	100%	100%	100%	100%	目標値どおり	継続	維持	維持	水底質の状況を定期的に調査する必要があるため。	水底質の状況を把握するため、継続して必要となる水底質調査を行っていく必要がある。	引き続き、定期的に水・底質調査を実施し、水環境を良好な状態に維持していく。また、しゅんせつ工事において環境に影響がないよう状況把握を行っていく。
				100%	100%	100%	100%	取組および資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。				維持	維持			
				17,811千円	10,659千円	8,286千円	8,237千円									
施05 事06	放置艇対策の推進 (プレジャーボート対策担当)	巡視および行政指導 を行った回数 【単年度管理型】	放置等禁止区域の定期的な巡視および行政指導を行った回数	職員による放置等禁止区域の定期的な巡視を行った。令和4年度は、令和3年4月、大田川河口の一部を放置等禁止区域に拡大指定したことに伴い、令和3年度に処理できなかった所有者が判明している放置艇の移動・撤去をほぼ完了した。なお、所有者不明の放置物件については本組合が撤去、処分を完了した。また、弥富ポートパーク(仮称)については、土質調査を実施した上で、早期整備、事業化に向けて予算要求を行った。	48回	48回	48回	48回	48回	目標値を上回る	継続	維持	維持	放置等禁止区域の拡大指定に向けて放置艇等の移動・撤去を確実に実行していく必要があるため。令和5年度は放置等禁止区域を指定する予定はないが弥富ポートパーク(仮称)整備に係る基本設計を実施するためコストは維持とする。巡視による行政指導により成果は維持とする。	放置艇対策を推進するためには、放置等禁止区域の拡大を検討する必要がある。また、弥富ポートパーク(仮称)の整備を推進するため、早期整備、事業化に向けて引き続き予算要求を行っていく必要がある。	放置艇の移転、収容のための受け皿となる新舞子ポートパークの空き状況を注視しながら、放置等禁止区域の拡大を検討していく。また、弥富ポートパーク(仮称)の早期整備、事業化を推進していくために予算の確保等を行っていく。
				46回	39回	62回	49回	取組および資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。				維持	維持			
				11,410千円	12,141千円	46,243千円	52,155千円									
施05 事07	新舞子ポートパークの管理・ 運営 (プレジャーボート対策担当)	ポートパーク利用率 【単年度管理型】	利用隻数÷収容隻数＝ 利用率	指定管理者との連絡調整会議を2カ月に1回、モニタリングを四半期毎に実施した。また、モニタリング結果をもとに、指定管理者の業務内容を評価し、名古屋港管理組合のホームページで公表した。海洋性レクリエーション活動の健全な発展に資するため、体験乗船会を行った。	100%	100%	100%	100%	100%	目標値をやや下回る	継続	拡大	維持	利用者の高齢化等に伴い退艇者が出たため「目標値をやや下回る」結果となったが、放置艇対策を推進し良好な港湾空間を維持するには、新舞子ポートパークの管理・運営は不可欠であるため方向性を「継続」とした。なお、取組を強化し、新たに指定する放置等禁止区域の放置艇を収容していくことから成果を「拡大」、コストは「維持」とした。	新舞子ポートパークの効率的・効果的な管理運営と利用者サービスの充実を図り施設の利用率を向上させる必要がある。また、海洋性レクリエーション活動の健全な発展に引き続き寄与する必要がある。	新舞子ポートパークは、放置艇対策の推進において重要な施設であり、放置艇の誘導・収容を適切に行うため、引き続き放置艇所有者に対し施設の利用を働きかけるとともに、放置等禁止区域の拡大を検討していく。また、海洋性レクリエーション活動の健全な発展に資する目標を達成するため施設を利用したレクリエーションを積極的に行う。
				90%	91%	93%	90%	資源(財・人)の投入は維持したまま、取組を強化することによって、成果をあげる必要がある。				維持	維持			
				7,787千円	7,861千円	8,100千円	7,780千円									
施05 事08	港湾区域内の漂流物除去 (海務課)	漂流物等による海難発生 件数 【単年度管理型】	漂流物等による海難発生 件数(件)	土日休日、祝日および夜間を除き、本組合による港内の漂流物除去を始め、公益社団法人名古屋清港会の作業船による巡回清掃を毎日実施し、港内や運河河川の船舶の航行安全および公衆衛生の確保に努めた。また、業務委託により実施している大型漂流物除去や南部地区障害物除去については、迅速かつ確実に漂流物を除去した。	0件	0件	0件	0件	0件	目標値どおり	継続	維持	維持	今後も船舶の航行安全および公衆衛生の向上を図る事業が必要であるため。	作業船の老朽化が進んでいることから、事業に影響が出ないように維持管理計画に基づき、適正な管理を行う必要がある。	港内の漂流物除去および港湾区域内の河川の水面清掃を行うとともに、船舶の航行安全、港内水域の美化および水面の汚濁防止並びに公衆衛生の向上を図る。
				0件	0件	0件	0件	取組および資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。				維持	維持			
				113,561千円	95,346千円	96,639千円	104,466千円									
施05 事09	公有地の管理 (管財課)	巡視の回数 【単年度管理型】	巡視の回数(回)	月2回の巡視を行い、不法投棄の連絡等があった場合、速やかに対応を行った。	48回	48回	48回	48回	48回	目標値どおり	継続	維持	維持	引き続き、公有地・緩衝緑地を適切に管理する必要があるため。	不法投棄の抑制を行っていくことが必要である。	巡視による早期発見および早期対応により、不法投棄の拡大防止を図る。
				48回	48回	48回	48回	取組および資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。				維持	維持			
				16,988千円	13,059千円	10,906千円	10,814千円									
施05 事10	ゴミの不法投棄・放置自動車 対策の推進 (港営課)	西部地区一斉清掃 【単年度管理型】	西部地区一斉清掃を行った回数(回)	例年春季および秋季に行われている西部地区一斉清掃は、感染症対策として、秋季(11月28日、29日、12月1日)のみ1回の実施とした。放置自動車については、判明した所有者に撤去を求めており、廃物判定基準による廃物として判定できないため、処分には至らなかった。	2回	2回	2回	2回	1回	目標値を下回る	継続	維持	維持	春季の西部地区一斉清掃は、感染症の影響により中止となったため「目標値を下回る」となった。方向性を判断した理由は、施策の成果向上・維持のため事務事業を継続することが必要であるため。なお、成果については、引き続き目標達成を目指すことから「維持」、コストも「維持」とした。	ゴミの不法投棄、放置自動車は無くなっていないため、今後も継続的な取組を行っていく必要がある。	良好な港湾環境づくりには、ゴミの不法投棄対策や放置自動車の削減・抑制対策は不可欠であり、定期的な臨港地区のパトロール、県民・市民や事業者への啓発に努め、投棄等をさげすむ環境を整える取組を引き続き実施していく。
				2回	1回	1回	1回	取組および資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。				維持	維持			
				3,677千円	3,671千円	3,600千円	3,600千円									

コード	事務事業名 (担当課名)	成果目標名 【指標型】	成果目標	4年度に取り組んだ内容	元年度	2年度	3年度	4年度	目標値 (5年度)	4年度 の状況	4年度実施事業に基づく評価結果			課題	5年度以降の取組方針	
					上段: 成果目標 目標値						成果	コスト	事務事業の方向性を判断した理由 ・目標年次の変更等の理由 等			
					中段: 成果目標 実績値											
下段: 事業費(単年度・人件費込・国費除く)																
施05 事11	構築物建設、水域占用等の許可 (港営課)	許可審査期間内に審査が完了できなかった件数 【単年度管理型】	許可審査期間内に審査が完了できなかった件数 (件)	事業者から各種申請等を受理し、滞りなく許可等を行うことができた。許可等に際しては、各種申請書を受理する前に事業者と事前相談を行うことで申請手続きを滞りなく進めることができた。 各種申請等に関する事業者からの事前相談に対して活用するHPIについては、港湾隣接地域の構築物の規制について、問い合わせがあった際に説明する内容を追加することでより内容を充実させた。また、必要に応じて申請・許可等に係る現地確認を行っており、事案によっては各地区の担当者のみではなく、係の職員全員と意見交換を行った上で申請者からの事前相談や問い合わせに応じることで、より円滑に手続きを進めることができた。	0件	0件	0件	0件	0件	目標値どおり	継続	維持	維持	法令で定められた手続きであり、事業そのものにコストをかけておらず、成果目標も達成しており、人員配置も適切であるため。	港湾の秩序ある開発・利用が行われるよう、名古屋港に係る規制について分かりやすく説明する必要がある。	成果を維持し、引き続き適切な事務処理を行う。
					0件	0件	0件	0件								
					47,705千円	47,637千円	38,970千円	38,970千円								
施05 事12	港湾計画の変更に係る環境影響評価 (計画担当)	環境の保全に関する資料を作成した件数 【単年度管理型】	環境の保全に関する資料を作成した件数	令和5年2月に行った内港地区(中川運河)におけるプロムナード等の整備を図るための港湾計画の変更(軽易な変更)において、必要な環境の保全に関する資料を作成した。	1件	1件	1件	1件	1件	目標値どおり	継続	維持	維持	港湾計画を変更する際に必要な業務のため。	港湾計画の変更に係る環境の保全に関する資料の作成にあたっては、愛知県環境局などの関係者と調整しながら進める必要がある。	港湾計画の変更に合わせて、関係者と調整しながら変更内容に応じた環境の保全に関する資料を作成する。
					1件	2件	0件	1件								
					4,587千円	12,886千円	4,500千円	4,500千円								

施策コスト(合計)	382,157千円	254,291千円	364,165千円
-----------	-----------	-----------	-----------

3. CHECK(成果目標の状況・4年度の取組内容など)

施策 成果目標	年度		元年度	2年度	3年度	4年度	目標値 [5年度]	成果目標の達成度に対する評価(外部要因等があればその旨を踏まえて記載)
	実績等	%						
名古屋港管理組合温室効果ガス総排出量の削減率	目標値	%	11.6	12.8	14	26	26 ^注	令和4年度の削減率は、電気の基本排出係数の上昇により、令和3年度より減少したものの、本庁舎及び港湾会館の再生可能エネルギー100%の電気調達や設備更新(LED化等)等の取組を推進したことにより、温室効果ガス総排出量の削減目標を達成した。
	実績	%	20.3	32.9	37.6	27.7		
放置艇の隻数	(仮目標値)*	隻	(601)	573	546	518	490	令和4年度の放置艇の隻数は、令和3年4月に大田川河口の一部を放置等禁止区域に拡大指定したことに伴い、当該区域の令和3年度に処理できなかった放置艇所有者に対し移動・撤去を指導するとともに、本組合による所有者不明物件の撤去・処分も実施したことから、前年度比40隻減の502隻となり、今年度の目標を達成した。
	実績	隻	607	578	542	502		

注: 名古屋港管理組合温室効果ガス総排出量の削減率は、長期目標の12年度を目標年度としている。

※ 仮目標値 = $\frac{\text{初期値(30年)} + \frac{\text{目標値(5年)} - \text{初期値(30年)}}{5 \text{年間(中期経営計画期間)}} \times 30 \text{年からの経過年数}$

構成事務事業の妥当性(施策目的を達成するために構成した事務事業に不足や問題点はないか?)
適正・見直しが必要